

事務事業名	鬼怒公園開発株式会社支援事務				担当	総務部 総合政策課 総合政策係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和63 年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠								
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	6企画費				
事業概要	<p>もおか鬼怒公園開発株式会社は、昭和63年にフレ・キヌ・スコーラー計画（鬼怒川河川敷や隣接する堤内地を使い、自然環境を保全しながら自然観察、スポーツ、遊び、生涯教育の場を整備する計画で、旧建設省関東地方建設局と真岡市が策定）に基づき、ゴルフ場を運営する会社として、真岡市等が出資して設立された第3セクターである。真岡市の生涯スポーツ・レクリエーションの振興のため設立した第3セクターであり、真岡市は筆頭株主として経営支援をしている。経営支援策としては、平成20年度からゴルフ場の長期借入金の早期返済と金利負担を軽減するため、低金利での短期貸付を実施している。</p> <p>なお、付帯事業として、真岡井頭温泉とチャットパレスの管理運営業務を指定管理者として真岡市から受託している。</p> <p>代表取締役は真岡市長。 株主：真岡市（出資82,000千円出資比率82%）、足利銀行（出資5,000千円出資比率5%）、常陽銀行（出資5,000千円出資比率5%）他市内金融機関。</p>							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
30年度実績 株主総会、取締役会への参加 短期貸付金の貸与事務 経営改善計画書に基づく経営状況の検証 経営改善計画策定への参画		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 株主総会参加回数	回	3	3	3	3	3
		イ 取締役会参加回数	回	3	3	3	3	3
		ウ 貸付金の貸付額	円	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		エ						
		オ						
31年度計画 株主総会、取締役会への参加 短期貸付金の貸与事務 経営改善計画書に基づく経営状況の検証								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
もおか鬼怒公園開発株式会社		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：取締役数	人	10	10	10	10	10
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
もおか鬼怒公園開発株式会社の安定経営		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：もおか鬼怒公園開発株式会社引当純利益	千円	25,594	18,118	15,532	19,362	28,569
		イ：ゴルフ場利用者数	人	42,838	44,933	45,419	47,000	47,200
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
生涯スポーツ・レクリエーションの場を市民に提供する		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア：スポーツ・レクリエーションをしている市民の割合	%	60.7	59.3	58.5		
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	
		その他	千円	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
		一般財源	千円	17,000	0	0	0	
	事業費計(A)		千円	1,017,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	80	80	240	240	
		人件費計(B)	千円	335	332	996	1,001	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,017,335	1,000,332	1,000,996	1,001,001		

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和63年、フレ・キヌ・スコーラー計画（鬼怒川河川敷や隣接する堤内地を使い、自然環境を保全しながら自然観察、スポーツ、遊び、生涯学習の場を整備する計画で、建設省関東地方建設局と真岡市が策定）に基づき、ゴルフ場を運営する会社として、真岡市等が出資して昭和63年に会社を設立し、設立時から筆頭株主として経営に参与している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度にゴルフ場部門の中期計画を策定し、長期借入金の金利負担を軽減し、早期の返済を市が支援することとなった。 原発事故による風評被害と電力料金の高騰等により、温泉部門の経営状況が厳しい状況となり、ゴルフ場部門の中期計画の達成が困難となったため、平成27年度に「経営改善計画書」を策定し、経営改善に取り組むこととなった。また、平成30年度から32年度を期間とする第2期経営改善計画を策定し、積極的な営業を含む更なる経営改善に取り組むこととなった。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	長期借入金を早期に完済するために財政支援等を検討すべきではないか。（議会一般質問）